



たいぎ 議会だより

No.188

2022
令和4年
4月発行

予算審査特別委員会

令和4年度予算を徹底審議……………P4～5

一般質問

8名の議員が10項目を問う

「高齢者の見守り事業」「新型コロナウイルス感染症対策」など……………P6～14

※写真は、4月8日に行われた大樹小学校の入学式の様子です。かわいらしい晴れ着に身を包んだ新入生たちが、色とりどりのランドセルとともに、少し緊張した表情で先生のお話を聞いています。

発行／北海道大樹町議会

編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

第1回 臨時会

議案審議

1月26日開催

専決処分の承認1件、
公の施設の指定管理者
の指定1件、
補正予算1件を審議!!

行

政報告に対する質疑と答弁

問 齊藤 徹 議員

建物解体に伴うアスベスト事前調査にて、アスベストが確認された場合、その処理に係る費用は全額国から助成されるのか。

答 鈴木総務課長

国からの助成はなく、町の一般財源から負担することとなる。

問 菅 敏範 議員

芽武地区農業用排水路支障木伐採処理に伴う季節労働者の人数は。

答 伊勢企画商工課長

7日間で20名を積算していたが、申込者数は16名であった。

一般会計予算

7,551万円を追加補正

企画調整推進事業 **100万円を増額**

エネルギーマネジメント会社設立に係る出資金。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 **7,200万円を増額**

住民税均等割非課税世帯や新型コロナウイルス感染症の影響で家計に急変のあった世帯を対象に1世帯当たり10万円を支給する新たな給付金。

問 齊藤 徹 議員

エネルギーマネジメント会社にはどのような職員が配置されるのか。

答 伊勢企画商工課長

大樹町が社員という形になり、総務課の職員が業務を兼務することを考えている。
業務の内容は1日1回程度の見回りになる予定。

問 西田 輝樹 議員

臨時特別給付金の対象者となる家計急変世帯はどのように確認するのか。

答 井上保健福祉課長

家計の全ての方の給与収入、事業収入、不動産収入、年金収入で確認し、非課税世帯同様の水準を満たせば対象となる。

第1回 定例会

議案審議

3月8日～3月18日開催

委員の選任2件、
条例の一部改正6件、
補正予算8件、
当初予算8件を審議!!

行

政報告に対する質疑と答弁

問 西田 輝樹 議員

新型コロナウイルス感染症の3回目ワクチン接種率は、十勝管内で比較するとどの程度進んでいるのか。また、人口が同程度の町と比べ町内での感染者は多く感じるが、どのようなことが原因と考えているか。

答 瀬尾保健福祉課参事

3回目のワクチン接種率は、十勝管内接種状況で比較するとかなり進んでいる状況。

答 井上保健福祉課長

幼児の感染が広がり、家庭内感染となるケースが多い。
町内で感染された方はほとんど軽症で自宅療養となっている。

一般会計予算

7億4,635万3,000円を追加補正

一般職給与職員手当等 108万3,000円を増額

当初予算では見込んでいなかった業務（ロケット打ち上げ、津波監視対応、町葬、はやぶさ2展示）による時間外勤務手当が発生したため予算計上しました。

企業誘致対策事業 400万円を増額

企業立地振興条例に基づき、雇用促進補助金として増加従業員数20人に対し従業員1人20万円を上限に予算計上しました。

町道維持管理事業 7,200万円を増額

町道除排雪業務で不足が見込まれるため、概ね除雪で8回分、排雪で2回分を予算計上しました。

問 菅 敏範 議員

企業版ふるさと納税PR業務の内容は。

答 大塚企画商工参事

SPACE COTANに委託している企業版ふるさと納税の企業への働きかけに対する成功報酬として3%を支払っている。

問 齊藤 徹 議員

晩成温泉維持管理費で燃料費の増額の理由は。また、木質チップの単価に変動はないのか。

答 伊勢企画商工課長

令和4年1月末現在と令和3年1月末現在を比較すると利用客は2,000人程度増えている。
また、冬に寒さが厳しかったことも燃料費が多くかかった原因と推測している。
単価については従前と変わらない。

算 審 査 特 別 委 員 会

3月14日～3月17日開催 委員11名で徹底審議！！

令和4年度
予算議決！

歳入歳出予算総額

一般会計 77億8,000万円

特別会計 18億7,740万円

企業会計 25億8,840万円

で承認しました。

会計区分(当初予算)		令和4年度
一 般 会 計		77億8,000万円
特別会計	国民健康保険事業	6億7,700万円
	後期高齢者医療事業	9,660万円
	介護保険	7億690万円
	介護サービス事業	3億9,690万円
企業会計	公共下水道事業	4億8,320万円
	水道事業	9億2,580万円
	国民健康保険病院事業	11億7,940万円

表決の分かれた議案

※齊藤委員長は表決に参加しません

議 案 名	寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	村瀬博志	船戸健二	松本敏光	西田輝樹	菅敏範	志民和義	齊藤徹	結 果
令和4年度大樹町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	原案可決
令和4年度大樹町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	原案可決

村瀬 博志 議員

賛成

財政の健全化において、財政調整基金等の繰入れを計上しているものの、地方交付税の減や一般財源比率の増などに対応するため、国や道の補助事業活用に加え、交付税措置のある地方債の借入に努めており、持続的な財政運営に配慮した姿勢が認められ、十分に評価できると考える。よって、本案に賛成する。

一般会計
決算討論

志民 和義 議員

反対

税の滞納者対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員で解決することが重要で、住民の事情をよく知る町職員には解決していく力が備わっていると思う。よって、本案に反対する。

吉岡 信弘 議員

賛成

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務処理も適切に遂行されていると考える。よって、本案に賛成する。

後期高齢者
医療特別会計
決算討論

志民 和義 議員

反対

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題なかったと考える。よって、本案に反対する。



齊藤 徹 委員長

令和4年度予

問 寺嶋 誠一 委員

航空宇宙推進事業で人材不足を補うために地域おこし協力隊や地域活性化企業人の活用を考えてはどうか

答 酒森町長

北海道スペースポートPR業務についてはSPACE COTANをお願いしたい。町としての事業もあり、企業から人材派遣する取組も進めている。優位な制度があれば積極的に活用していきたい。

問 吉岡 信弘 委員

大樹町赤ちゃん誕生祝金の増額の考えは

答 酒森町長

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として運用している。令和4年度についても同額の10万円の祝い金を支給したいと考え予算計上している。

問 西山 弘志 委員

海岸に漂着している流木を道が処理を行っているが、歴舟川に散乱する木の処理方法はどのようになっているのか

答 松木農林水産課長

河川に留まっている木についても早期に寄せて、河川管理者が回収を行っている。流木の組織の活動強化を図るために体制の見直しを行っているところで、今後も引き続き要請をしていく。

問 村瀬 博志 委員

企業立地振興事業とは

答 酒森町長

企業立地振興条例に基づき、企業が拡大し雇用が増えることに對し支援を行い、条例の趣旨に沿った対応に努めていく。

問 菅 敏範 委員

風しん抗体検査業務を令和4年度も継続して実施する理由は

答 瀬尾保健福祉課参事

当初は令和3年度までの業務としていたが、全国的に検査の受診率が低いため3年間延長し、継続して同様の検査を実施する。

問 志民 和義 委員

就学前の子どもに対する国民健康保険料の均等割額について2分の1が減額されるが、減額措置の適応年齢を拡げることはできないか

答 酒森町長

現在の在り方で踏襲していく。



今年度から本格的に整備が始まる北海道スペースポート



新町民プール外観予定図

問 辻本 正雄 委員

アルコール検知器の使用方法和設置部署は

答 鈴木総務課長

車両に乗る前、乗った後に検査を義務付け実施していく。総務、建設、福祉、教育の4つのセクションで使用する。

問 船戸 健二 委員

新保育園建設に伴い、園児や保護者の町民プール利用増が考えられるが運営方法の見直しは

答 清原社会教育課長

少年団が使用中に一般町民の方への制限がないよう、レーンを分けるなどで対応していく。

問 西田 輝樹 委員

新町民プールの年間使用期間、年間維持費用、使用料金は

答 清原社会教育課長

使用期間は6月初めから9月末日で朝から夜9時まで。使用料金については現行と同じ。

今年度の執行方針はこれだ!!

「やすらぎを生み出す」～人と自然にやさしいまちづくり～

- 住環境の向上を図る住宅リフォーム支援事業
個人住宅の長寿命化や省エネルギーの推進を

「健やかに暮らす」～安心と支えあいのまちづくり～

- 高齢者一人ひとりが安心して暮らせる施策
社会福祉協議会や町内会など、互いに支え合う福祉のまちづくりを

「人が輝く」～夢を育み学びの意欲を高めるまちづくり～

- 大樹高等学校2間口募集の復活
学校の魅力を一層高める取組など、必要な支援を

「活力を高める」～資源を豊かさにつなげるまちづくり～

- 商店街の活性化を図る起業家等支援事業
魅力ある商店街づくりに取り組む事業者へ支援を

「明日につなぐ」～交流と協働で進めるまちづくり～

- 移住相談に「移住コーディネーター」を配置
細やかな情報発信や移住・定住に向けた支援体制の充実を

町政執行方針



酒森 正人 町長

教育行政執行方針



板谷 裕康 教育長

「地域と共にある 学校づくり」

- 学校教育のより一層の充実
生涯にわたって社会で生き抜いていくために必要な実践力の向上を

「学ぶ喜びを追究する 人づくり」

- 生涯にわたる学習活動への支援
学習成果を地域で生かせる環境づくりの推進を

町民の声を町政に届ける

一般質問

町民の代表として8名の議員が10項目について質問しました

西田 輝樹 議員

- ◎脱炭素社会に向けての取組について
- ◎高齢者の見守りなどの事業について

西山 弘志 議員

- ◎SDGs未来都市計画の取組について

吉岡 信弘 議員

- ◎新型コロナウイルス感染症
予防対策の周知について

寺嶋 誠一 議員

- ◎新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金について

志民 和義 議員

- ◎腎臓病の人工透析について

菅 敏範 議員

- ◎大樹高校の志望者確保の取組
- ◎大樹小学校の
120周年記念事業について

船戸 健二 議員

- ◎ウィズコロナと子育て支援

齊藤 徹 議員

- ◎次期各計画における工業地域
(準工業)の考え方と都市計画
用途地域について



ここが聞きたい!

一般質問

木質バイオマスボイラーのエネルギー棟



Q1 脱炭素社会に向けての取組について

質問

町長として脱炭素社会実現に至った経緯は。

答 (酒森町長)

2050年までに二酸化炭素排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言した。世界各地で異常気象が発生し、豪雨や猛暑による地球温暖化が一因とみられる気候変動の影響が顕在化している。本町の自然豊かな環境を次世代に引き継ぐために決意した。

質問

町の二酸化炭素排出量は把握できているのか。

答

地球環境に配慮したまちづくりを決意

脱炭素社会に向けての事業実施を

答 (酒森町長)

環境省では各種データを活用し、地方公共団体における二酸化炭素排出量の現況推定値を公表しており、大樹町は11万5千トンと推定されている。

質問

推進にあたり庁舎内や関係機関との協議会組織の考えは。

答 (酒森町長)

職員によるプロジェクトチームや産業団体、町民などで構成する組織を立ち上げる。

質問

バイオマスや太陽光発電など再生エネルギー活用への方策は。

答 (酒森町長)

新年度からスマート街

Q2 高齢者の見守りなどの事業について

質問

地域での見守りの現況。

答 (酒森町長)

大樹町徘徊高齢者等 SOS ネットワークや民生委員、社会福祉協議会で見守りを推進しており、小地域ネットワーク事業

では、16行政区が各地域で声かけや見守り活動を行っている。

質問

地域ふれあい活動の実施状況について。

答 (酒森町長)

認知症カフェや脳トレーニングや健康相談を行っており、社会福祉協議会では、地域住民による地域ふれあいサポート事業に86名が登録し活動している。

質問

今後の事業について。

答 (酒森町長)

既存の事業を社会福祉協議会と共に連携して取り組んでいく。



西田 輝樹 議員

ここが聞きたい!

一般質問

質問

持続可能な開発目標（SDGs） 達成に向けての取組は

答

次期総合計画にSDGsの観点を取り入れる



西山 弘志 議員

Q1 SDGs未来都市計画の取組について

る17の目標は全て町の施策に関わってくるものと認識している。

新年度から着手する次

期総合計画にSDGsの観点を取り入れ、町の施策とひもづけることによつて、考え方や理念を共有していきたいと考える。

質問

大樹町ではゼロカーボンシティを宣言。管内初となるZEB庁舎が完成し、スマート街区では再生エネルギーの利用を促進している。

これからは、SDGs

未来都市計画が必要と思われるが、持続可能なまちづくり達成に向けてどのような取組を行うのか。

答（酒森町長）

第5期総合計画や第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、持続可能な社会の実現に地方創生に取り組んでおり、SDGsに掲げられてい

質問

SDGsの取組は、私たちの日々の生活や仕事と密接に関係しており、日々の暮らしの中で実践できると思うが、広報たいき等で情報発信やPR活動を行ってはどうか。

答（酒森町長）

町が取り組んでいる内容について、情報として伝えていくことは使命であり、次期総合計画でS

DGsの理念を共有しながら取り組んでいく。

質問

SDGs目標12「つくる責任つかう責任」にターゲット5「予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）」により廃棄物の排出を大幅に削減する」とあるが、粗大ごみのリサイクルや生ごみの削減などに取り組む考えは。

答（酒森町長）

ごみの減量化については、生ごみの水分含有量を減らすことも含め、SDGsの理念に基づくものであり、ゼロカーボンに繋がることもある。ごみの減量化は最重要課題と考えており、今後、

質問

持続可能な農業について、家畜ふん尿の処理は畜産業にとつて切り離せない問題である。

家畜ふん尿を利用した、バイオメタン等のエネルギー・地産地消の取組についての考えは。

答（酒森町長）

家畜ふん尿は、再生エネルギーとして、また、再生敷料や液肥として有効活用が図られるものであり、これらを循環させ、有効資源として活用していくことが大事であり、地域内で循環できれば更に良いと考える。

12 つくる責任
つかう責任



SDGs目標12「つくる責任つかう責任」の口

ここが聞きたい!

一般質問

耳に障がいのある方向けの無線放送の文字変換機



Q1 新型コロナウイルス感染症予防対策の周知について

質問

新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株の感染急拡大で、本町でも感染が広がった。理化学研究所等が行ったオミクロン株の感染リスクの分析では、マスクを着用し1m以上離れていれば、感染はほとんどないとの分析結果である。町長は、2月4日、町のホームページに新型コロナウイルスに関するメッセージを発信したが、今後は、多くの町民に行き渡るような無線放送で直接訴えかけることも必要と思うが。

答 (酒森町長)

今回のメッセージは、無線放送で周知しなかった。今後、必要な情報は無線放送でも周知する。

質問

感染予防ため、正しいマスクの着用や距離、手洗い、うがいなどの注意喚起は定時放送で繰り返し周知することは。

答 (酒森町長)

無線放送での注意喚起は、昨年5月以降14回行った。今後も継続して周知していく。

質問

町ホームページは開かなければ見ることができない。無線放送をどのような事態で発信するか決めておく考えは。

答 (酒森町長)

マニュアルを作ることには考えていない。情報の発信は、臨機応変にスピーディーに対応する。

質問

目や耳に障がいのある世帯へのメッセージの発信はどうか。

答 (鈴木総務課長)

耳の不自由な方には、無線放送の受信機に接続する文字変換機により文字表示される。

質問

今年1月と2月それぞれ何回、無線放送で感染予防の周知をされたか。

答 (井上保健福祉課長)

1月は昼夜各2回、2月は放送していない。

質問

2月に感染者が増えており、放送を多くすべきではなかったか。

答 (井上保健福祉課長)

今回感染が広がったため、注意喚起を適宜放送していく予定である。

質問

本町の感染者は、3月5日までの約1か月半で105名の感染である。無線放送等による周知を増やすことも必要では。

答 (酒森町長)

現在も発生が続いており、感染対策の周知は町の役割である。

答

今後は無線放送でも周知する

町長メッセージは無線放送も必要では



吉岡 信弘 議員

ここが聞きたい!

一般質問

質問

新型コロナウイルス感染予防対策 以外の支援策は

答

臨時交付金を有効に活用し経済対策など
必要な事業に取り組む

Q1

新型コロナウイルス
感染症対応地方創生
臨時交付金について

減少したのは6件（全体の16%）という結果を把握している。

質問

帯広商工会議所では、新型コロナウイルス感染症拡大で影響を受けた飲食店に対する緊急現況調査を実施し、今年に入ってから前年同期より売上が50%以上減った店が3割に上り、9割超えで減少しているとの結果だったが、大樹町でもこの様な現況調査を実施しているか。

答（酒森町長）

町や商工会では現況調査は実施していないが、特別支援金給付事業の申請内容によると前年同月と比較して20%以上減少した飲食店は21件（全体の55%）で、内50%以上

質問

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、飲食店に限らず地元企業も同様で、ほとんどの事業主はコロナ融資を受けている。この特別な融資は、一定期間金利が発生せず返済の猶予もないが、やがて訪れる返済期限は迫っている。町融資も同様の利子補給などの特例融資があるが、これらに対し今後においての具体的な支援策は。

答（酒森町長）

融資を受けている企業への具体的な支援策は、令和2年度に借り入れたコロナ対応融資に対する

質問

利子補給制度を設け、借入額1,000万を上限に5年間の利子額と信用保証料の全額を補助している。また、一定要件を満たす事業者には既往融資の借換えや返済猶予などの支援制度があり、商工会から周知が行われている。

新型コロナウイルス感染症対応策として感染予防対策以外の支援策はこれまで一括給付金や事業持続化給付金、プレミアム商品券やクーポン券等があったが、今後も継続してこの様な対応策を講じる考えがあるか。

答（酒森町長）

令和2年度から国の新

意見

新年度においても臨時交付金を有効に活用しながら経済対策など必要な事業に取り組んでいく。

今後の支援策にはお金も大事であるが、まずは現況の調査を定期的に実施し、コロナ禍を生き抜くための知恵や情報の供給も大事なことである。個人や企業を対象に、これまで以上に丁寧な情報提供することも町の使命と考える。



寺嶋 誠一 議員

臨時交付金を活用し購入した家族用の避難所パーテーション



一般質問

答

腎臓病患者を人工透析に
できるだけ移行しない取組を

新規患者を減らすため、若年から健診が受けられる体制を整備し、保健指導を実施している



答（酒森町長） 現在、6種類のリン吸着薬が保険適用になつてゐる。その内の2種類が人工透析中の方に対象が限定されている。他の4種類は、人工透析をしていない慢性腎臓病の方にも保険適用となつており、医師の診断で処方されるものである。そのため、国に対して保険適用の拡大を求めたり、町単独での助成は考えていない。

国に対して、初期や中期からの症状にも保険適用を求めているどうか伺う。また、町単独で少なくとも中期の患者に対し助成する考えはないか。

質問 腎臓病の進行を把握するクレアチニン検査を、すべての健康保険で行っているか。

答
（酒森町長）

コロナ禍以前には、食事指導を含めた調理実習を実施していたが、再開する見込みは。

質問

町が実施する健診は、30年前から血清クレアチニン検査を必須項目にしている。

健診で慢性腎臓病が見つかった方には、定期的に栄養士が訪問し相談をしている。また、糖尿病等の治療を中断した方には受診勧奨を行い、重症化予防に努めている。

答
(酒森町長)

新規患者を減らすため、若年から健診が受けられる体制を整備し、糖尿病や高血圧等の生活習慣病の発症・重症化予防のための保健指導を実施し、切に相談ができるため、相談の形態を集団で行う調理実習から、個別相談に切替えて実施している。今後も個別相談で対応する予定である。

Q1 腎臓病の人工透析について

質問

健康で文化的な日常生活を送ることは、個人のみならず、社会的活動にも重要なことであると考ええる。

大樹町では、腎臓病患者を人工透析にできるだけ移行しない取組を行っているというが、どのような取組を行っているのか。

答（瀬尾保健福祉課参事）

対象者により病気の重症度が違うこともあり、個別相談のほうがより適切に相談ができるため、相談の形態を集団で行う調理実習から、個別相談に切替えて実施している。今後も個別相談で対応する予定である。

質問

腎臓病の悪化を防ぐリ
ン吸着薬は、重症化しな
いと保険適用にならない
と聞いている。

らいふでは若年層の健診を受け付けています

ここが聞きたい!

一般質問

質問

高校の生徒数確保に部活動の復活を

答

活性化推進協議会で積極的に検討したい

Q1 大樹高校の志願者確保の取組

質問

昨年、念願の2間口復活を成し遂げたが、今後2間口維持が厳しい状況である。新たな方策として「部活動の復活や指導者の養成」についての考えを聞きたい。

答 (教育長)

部活動は大事な要素であるが、伝統ある野球部・軟式庭球部が廃部になり、高校側からは「生徒から希望があり、地域の支援体制が整えば、復活に柔軟に対応する方針である」と聞いている。指導者の養成については、高校側から指導者派遣の依頼があり、体育連盟で支援体制を前向きに検討しているところ。

質問

4年度の志望者数の状況は。

答 (教育長)

地元の志望者は15名、町外が16名の31名で、残念ながら地元の進学率は50%以下となった。

質問

地域の支援体制として、部活動で頑張る遠距離通学者の生活手段として、下宿や寮の確保も有効な手段であると考えるが、町長の考えは。

答 (酒森町長)

2間口維持には「地元の進学率向上と町外からの入学者確保」が重要であり、遠方から通学する生徒に通学費の支援策などを講じているが、下宿や寮の確保も有効な手段なので、活性化推進協議

会で様々な角度から検討していく。

質問

高校では「地域の支援があれば柔軟に対応する」という考えなので、真剣な議論を早急に進めるべきでないか。

答 (酒森町長)

どのような対策が生徒確保につながるか、推進協議会に積極的に提起していきたい。

Q2 大樹小学校の120周年記念事業について

質問

大樹小学校は5月で開校120周年の歴史を迎えるが、どのような記念事業を考えているのか。

答 (教育長)

町からの事業費補助は考えていないが、各種事業が円滑に実行できるようサポートしていく。

質問

協賛会との連携や式典開催に対する財政措置に対する考えは。

答 (教育長)

今後、協賛会で具体的内容が検討されるが、子どもたちの記憶に残る行事の実施やタイムカプセルの開封、記念誌の発行が予定されている。



菅 敏範 議員

2間口維持を目指す大樹高校



ここが聞きたい!

一般質問

新しく建てられた子育て支援センター



Q1 ウイズコロナと子育て支援

質問

新型コロナウイルス感染症の長期化、オミクロン株の感染拡大に伴い、特に子育て世帯にとつて様々な負担が増加し、感染拡大防止の取組の中で収入の減少等、肉体的にも精神的にも経済的にも厳しい状況が続いている町としての今後の子育て支援について伺う。

答

(酒森町長) 法人こども園が4月1日に開園するにあたり、南・北保育園の後利用について進めており、その中では、子育て支援団体

も参加いただき、ご意見等いただいている。まだ、結論には至っていないが、遊び場を含めて検討している。子育て支援団体のサポート体制については、子育て支援センターや保健福祉課児童保育係、保健師がサポートできるものとする。

質問

家事負担軽減設備に対する助成について。

答

(酒森町長) 設備によってはリフォーム支援事業の対象になる場合もあるので、個々に相談していただきたい。

質問

妊産婦支援事業の拡充、メンタル体制とこのころの未病対策について。

答

(酒森町長) 出産に対する不安解消に向けた母親学級の開催、栄養士による妊婦栄養指導を実施している。また、令和3年度から産後ケア事業に取り組んでおり、出産後に支援が必要な母子に対し、助産師が心身のケアや育児サポート等を行っている。

質問

妊婦安心出産支援事業の中で帯広の病院や里帰り出産の通院支援は実施しているが、札幌や旭川等の高度小児医療を必要としている家族への交通費や滞在費等の経済的な支援がない。ハイリスク妊産婦支援事業導入の考えは。

答

(酒森町長) ハイリスク妊産婦に対する宿泊費支援、交通費支援については、先進自治体の事例を調べたうえで、導入に向けて検討すべきと考える。

質問

現在検討している子育て支援について。

答

(酒森町長) 4月の法人認定こども園開園にあわせた土曜保育の時間延長と保育標準時間の導入、更には、町内の子どもとその家庭及び妊産婦を対象に、福祉に関する支援を行う「子ども家庭総合支援拠点」の設置を検討している。

答

先進自治体の事例を調べ導入に向けて検討

ハイリスク妊産婦支援事業導入の考えは

質問



船戸 健二 議員

ここが聞きたい!

一般質問

質問

都市計画用途地域、今後の見直しは

答

第6期総合計画と連動し、発展を見据えた
策定に取り組む

Q1 次期各計画における
工業地域(準工業)
の考えと都市計画用
途地域について

質問

川南工業団地、現在の
分譲と価格、新たな工業
団地の考えは。

答 (酒森町長)

分譲価格は、一区画1
千31万5千円から1千9
7万6千円。新たな工業団
地は、現時点で考えを持
っていない。

質問

都市計画用途地域の町
有地、新たな活用と新規
事業の計画と変更はある
のか。

答 (酒森町長)

旧特養跡地や旧老人ア

質問

パート跡地を双葉町団地、
松山団地の一部移転候補
地と考えている。小学校
の東側隣接地には、新プ
ールを建設する予定。現
時点において、具体的な
新規事業等の計画はない。

航空宇宙関連企業誘致
の考えと各計画に盛り込
んでいくのか。

答 (酒森町長)

土地利用やインフラ整
備など様々な課題のクリ
アが必要。次期総合計画
や都市計画マスタープラ
ンに方向性や方針などを
盛り込んでいきたい。

質問

宇宙版シリコンバレー
の実現に向けて、候補地
は定まっているのか。

答 (伊勢企画商工課長)

特定地域を定めること
は必要と考えている。現
時点で候補地は定まって
いない。

質問

今後、都市計画用途地
域の見直しは。

答 (酒森町長)

用途地域を含めた都市
施設の課題を把握したう
えで、第6期総合計画と
連動し、将来の発展を見
据えた策定に取り組む考
えでいる。

質問

都市計画法・農地法の
ハードルを整理し、まず
は、大樹町全体の下地(青
写真)を描くことが必要
では。

答 (酒森町長)

次期総合計画・都市計
画マスタープランの改定
に合わせて、今後、未
来に向けて、描いていく
か、意見情報を得ながら、
非常に大きな未来につな
がる重要な仕事であると思
うので鋭意取り組んで絵
を描きたい。

まとめ

交通の利便性から、企
業誘致、宇宙シリコンバ
レーを進めていく中、10
年・15年先を見据え、下
地を描き法律の糸口を探
りながら、各種総合計画・
マスタープランの策定に
取り組んでいただきたい。



齊藤 徹 議員

上空から撮影した大樹町市街地





一目でわかる 審議結果

全会一致の議案

第1回臨時会	専決処分した事件の承認について 子育て世帯への臨時特別給付金で当初クーポン券で支給するとされていた5万円分について、10万円の現金一括給付を認めるとされたことから、近隣町村の給付状況も踏まえ、大樹町においても現金により対象者に対し一括給付とし、当初予定していた振込日に間に合わせるため専決処分を行い、また、町内の2団体から赤潮による被害を受けた大樹漁業協同組合に対する被害見舞金としての寄附があったことから速やかに届けるため専決処分を行った、一般会計補正予算について承認しました。	承認
	大樹町公の施設の指定管理者の指定について 晩成温泉と学童農業研修センターの管理を行わせる指定管理者を指定しました。	原案可決
	令和3年度大樹町一般会計補正予算（第9号）について 歳入歳出それぞれ7,551万円を追加し、予算の総額を102億1,392万1,000円としました。	原案可決
	大樹町固定資産評価審査委員会委員の選任について 委員に、播間章浩氏と田中英治氏を選任することに同意しました。	同意
第1回定例会	大樹町の休日に関する条例等の一部改正について 年末年始の休日について、期間を12月29日から1月3日までに改正しました。	原案可決
	大樹町国民健康保険税条例の一部改正について 大樹町の休日に関する条例の一部改正に併せ、納期を改正しました。（第6期：12月1日から同月28日まで、第7期：1月4日から同月31日まで）	原案可決
	大樹町公衆浴場設置条例の一部改正について 十勝管内の公衆浴場入浴料の状況を踏まえ、令和4年10月1日から入浴料を値上げします。	原案可決
	大樹町廃棄物の処理及び清掃に関する条例等の一部改正について 令和4年10月1日から指定ごみ袋の料金を値上げします。	原案可決
	大樹町営牧場条例の一部改正について 消費税率の引き上げや生産資材等の高騰、施設や機械の修繕費の増加、家畜伝染病による預託頭数の減少により令和4年の夏期放牧から町営牧場使用料を一律50円値上げしました。	原案可決
	大樹町晩成温泉条例一部改正について 温泉施設に付随する施設のうち、一部付随施設を条例から削除しました。	原案可決
	令和3年度大樹町一般会計補正予算（第10号）について 歳入歳出それぞれ7億1,235万3,000円を追加し、予算の総額を109億2,627万4,000円としました。	原案可決
	令和3年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）について 歳入歳出それぞれ1,366万7,000円を追加し、予算の総額を7億1,757万9,000円としました。	原案可決
	令和3年度大樹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出それぞれ262万7,000円を減額し、予算の総額を9,637万3,000円としました。	原案可決
	令和3年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第3号）について 歳入歳出それぞれ4,595万7,000円を減額し、予算の総額を7億2,138万8,000円としました。	原案可決
	令和3年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）について 歳入歳出それぞれ2,526万9,000円を減額し、予算の総額を3億8,196万6,000円としました。	原案可決
	令和3年度大樹町水道事業会計補正予算（第5号）について 収益的収入の予定額を4億4,488万6,000円、収益的支出の予定額を5億941万円としました。 資本的収入の予定額を5,008万7,000円、資本的支出の予定額を2億8,193万3,000円としました。	原案可決

次のページへ続く

第1回定例会	令和3年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第6号）について 収益的収入・支出の予定額をそれぞれ10億6,823万3,000円としました。 資本的収入の予定額を5,001万3,000円、資本的支出の予定額を5,250万3,000円としました。	原案可決
	令和3年度下水道事業会計補正予算（第4号）について 収益的収入の予定額を4億2,983万4,000円、収益的支出の予定額を3億57万9,000円としました。 資本的収入の予定額を3,471万5,000円、資本的支出の予定額を1億6,859万6,000円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町一般会計予算について 令和4年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ77億8,000万円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算について 令和4年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億7,700万円としました。	原案可決
	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算について 令和4年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ9,660万円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町介護保険特別会計予算について 令和4年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億690万円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町介護サービス事業特別会計予算について 令和4年度の歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億9,690万円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町水道事業会計予算について 令和4年度の収益的収入の予定額を4億7,616万2,000円、収益的支出の予定額を5億1,321万7,000円としました。資本的収入の予定額を1億2,192万円、資本的支出の予定額を4億1,258万3,000円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町立国民健康保険病院事業会計予算について 令和4年度の収益的収支の予定額を11億2,009万円としました。 資本的収入の予定額を5,797万円、資本的支出の予定額を5,931万円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町下水道事業会計予算について 令和4年度の収益的収入4億3,250万4,000円、収益的支出3億996万1,000円としました。 資本的収入の予定額を3,513万9,000円、資本的支出の予定額を1億7,323万9,000円としました。	原案可決
	教育長の任命について 教育長に、沼田拓己氏を任命することに同意しました。	同意
	令和3年度大樹町一般会計補正会計予算（第11号）について 歳入歳出それぞれ3,400万円を追加し、予算の総額を109億6,027万4,000円としました。	原案可決
	女性議員が参加しやすい環境を整える条例の制定についての陳情書 本陳情書の条例案については、女性が議会に参加しやすい環境を整えることは必要であると理解し社会情勢の推移に基づき議論を深めることが大切であると認識するが、非現実的な内容が多いため、不採択としました。	不採択
	ロシアによるウクライナ侵略と核兵器での威嚇を非難しウクライナ国民の支援を求め る決議について ロシアに対し、一連のウクライナへの軍事侵攻と核兵器の威嚇に厳しく抗議するとともに、即時に攻撃を停止し、部隊をロシア国内に撤収するよう強く求め、ウクライナに安全で安心な生活に戻れるよう最大限の支援を行うことを政府へ求める決議をしました。	原案可決

広報広聴常任委員会



委員長 辻本 正雄
副委員長 西山 弘志
委員 松本 敏光
委員 齊藤 徹
委員 船戸 健二
委員 寺嶋 誠一

編集後記

コロナ禍で生活環境が変化し、人と直接触れ合う機会も少なくなるとなりました。日頃より「議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。

今日まで、皆様に関心を持って読んでいただけたか模索し、見やすい紙面と内容で、町政や議会活動について理解していただけることを目標にしてみました。

5月から新庁舎での議会活動がスタートします。もっと身近で親しみのある広報広聴活動を目指し、年度内に動画配信を予定しています。次号以降もお楽しみに、よろしくお願いします。

委員 齊藤 徹